

2015年3月25日

報道資料

株式会社UBIC

(東証マザーズ コード番号：2158)

(NASDAQ ティッカーシンボル：UBIC)

UBIC、次世代の調査解析技術の研修を開始 ～神奈川県警察のサイバー犯罪対策課向け～

米ナスダックと東証マザーズに上場し、人工知能を駆使したビッグデータ解析事業を手がけるUBIC（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本正宏）は、4月1日より、神奈川県警察のサイバー犯罪対策課に対し、新たな調査解析技術の研修を始めます。

近年サイバー犯罪を含め犯罪の複雑化と巧妙化が進んでおり、捜査手法も日々更新が必要とされています。このような状況のなか、次世代の犯罪対策を見据え、神奈川県警察の捜査技術の高度化を目指した研修の開始に至りました。

当社は人工知能やビッグデータ解析技術をはじめとした調査解析技術を提供しています。また、デジタル・フォレンジック製品の日本におけるパイオニアとしてアジア言語にいち早く対応し、法執行機関に提供している数少ない企業です。引き続き行動情報科学技術を応用した高品質な製品の提供を通じて社会の発展に貢献してまいります。

【UBICについて】 URL: <http://www.ubic.co.jp/>

代表取締役社長：守本 正宏 東京都港区港南 2-12-23 明産高浜ビル

株式会社UBICは、独自開発の人工知能「バーチャルデータサイエンティスト（VDS）」の活用により、ビッグデータを含む情報解析を支援する行動情報データ解析企業。2003年に、国際訴訟などに必要な電子データの証拠保全と調査・分析を行うeディスカバリ（電子証拠開示）支援や、コンピュータフォレンジック調査サービスを提供する国際訴訟対策支援企業として創業。自社開発のデータ解析プラットフォーム「Lit i View®（リット・アイ・ビュー）」、アジア言語に対応した「Predictive Coding®（プレディクティブ・コーディング）」技術などを駆使して企業の訴訟対策支援を実施。訴訟対策支援で培った人工知能「VDS」は専門家の経験や勘などの「暗黙知」を学び、ビッグデータ解析を実現。近年は、VDSを医療やマーケティングなどの領域に適用して事業を拡大している。2003年8月8日設立。2007年6月26日東証マザーズ上場。2013年5月16日NASDAQ上場。資本金1,673,158千円（2014年9月30日現在）。

〈本件に関するお問合せ先〉

株式会社UBIC 広報 神田・勝部

TEL: 03-5463-6380 FAX: 03-5463-6345